

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2060080	001
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	みんなの森 ぎふメディアコスモスの季刊紙発行				
担当部名	市民協働推進部		担当課名	ぎふメディアコスモス事業課	
実施方法	委託(民間)	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	令和3 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的		シビックプライドセンターとしてのメディアコスモスが、全館的観点から、施設理念や考え方とともに多様な活動に参画する市民の姿を生き生きと伝える広報メディア(季刊紙)を発行する			
事業の内容		季刊紙(メディコス文化道)の発行 紙面構成:メディコスに集う面々の紹介や近隣のスポット情報を主軸 発行回数:年4回			
事業の 対象	何を	施設理念や考え方とともに多様な活動に参画する市民の姿			
	誰に	市民、岐阜市来訪者			
	どのくらい	年4回発行			
令和3年度 (実施内容)		季刊紙(メディコス文化道)年4回発行			

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	-		-		3,230	100
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	-		-		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	-		-		0	
計(A)	-	-	-	-	3,230	100

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
				2,138
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	委託費			1,600
	印刷製本費			538
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
				0
計(D)=B+C		-	-	2,138

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		-	-	5,368

【4.収入】

収入内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金				1,069
県支出金				
市債				
使用料・手数料				
その他				
計(F)		-	-	1,069

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		-	-	4,299

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	—	—	季刊紙読者
受益者数	—	—	20,000
受益者負担額(千円)	—	—	0
受益者負担率(%)			0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			215

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	発行回数		単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	—	—	4	
実績値	—	—	4	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	来館者数の増加		単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	—	—	1,200,000	
実績値	—	—	819,999	
達成状況	—	—	×（未達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市民活動団体やメディアコスモスで活動する人々の様子を伝えることにより、市民活動が活発になる。 メディアコスモスやメディアコスモスで活動する団体・人々の紹介は市が主体的に行うことが必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	最小限の経費で実施している。 現在は取材や編集を企業に業務委託しているが、将来的に「メディコス編集講座」修了生が、取材の一部を担い、市民協働で編集していくことも検討中。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	各号5,000部作成・配架しているが、ほぼ在庫がなくなっている。市民からの関心も高く、まち情報に関しては、周辺店舗から掲載の依頼も多くある。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	市内10か所以上で配架し、メディアコスモス館内でも多くの来館者の目に留まる位置に配架することにより、広く周知している。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	年間4回、定期的に発行することで、新たなメディアコスモスファン、応援団、ボランティアを増やすことにつながるとともに、すでに関わりを持ち協働して来たボランティアやNPO団体のメディアコスモスへの理解、シビックプライドへの認識がさらに深まる。また、視察団体や関連外部企業、新規移住者、流入する学生への広報効果も期待できる。ひいては市の関係人口増につながる広報ツールとしての役割を担うものであるため、現状維持とする。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2060080	002
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	メディコス「文化の広場」交流事業				
担当部名	市民協働推進部	担当課名	ぎふメディアコスモス事業課		
実施方法	補助等	補助等の種類	その他負担金	実施主体	みんなの森 ぎふメディアコスモス 自主事業実行委員会
実施期間	令和3 年度～	年度	根拠法令・関連計画	－	

【2.事業概要】

事業の目的		メディアコスモスの文化的資源(本・資料、ボランティア、NPOネットワーク)を駆使した、広場としての場の魅力を屋外で日常的に体感できる市民協働市を定期開催する。これまでの周年記念事業もこれまでの形態をコンパクト化してこの流れの結節点に位置付ける。メディアコスモスが外の広場へと領域を広げ、市民団体と市民との交流ポイントを屋外に生み出すことも大きな目的である。
事業の内容		①広場でのクラフト市、マルシェなど ②市民登録団体による市民自主事業「フム・ドキ・ワイワイ事業」 ③正月イベント ④ハーブガーデン講座
事業 の 対 象	何を	広場としての場の魅力を屋外で日常的に体感できる市民協働市
	誰に	市民
	どのくらい	①広場でクラフト市、マルシェなどを1回実施 ②市民登録団体による市民自主事業「フム・ドキ・ワイワイ事業」を1回実施 ③正月イベントを1回実施 ④ハーブガーデン講座を3回実施
令和3年度 (実施内容)		①広場でクラフト市、マルシェなどを2回実施 ②正月イベントを1回実施 ③ハーブガーデン講座を3回実施

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	－		－		9,690	300
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	－		－		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	－		－		0	
計(A)	－	－	－	－	9,690	300

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	負担金			1,195
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
計(D)=B+C		－	－	1,195

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	－	－	10,885

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			524
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	－	－	524

【5.収支】

市負担額一般 財源(E－F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	－	－	10,361

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者			イベント参加者
受益者数			—
受益者負担額(千円)			0
受益者負担率(%)	—	—	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)）

活動指標名	イベント開催数		単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	—	—	6	
実績値	—	—	5	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	来館者の増加		単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	—	—	1,200,000	
実績値	—	—	819,999	
達成状況	—	—	×（未達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	市民活動団体の活動の場の提供により、多様な市民交流の促進が図られる。 単なるイベント開催を超えた市民、ボランティア、NPOネットワーク間はもちろん、柳ヶ瀬商店街を含めた新たな信頼的関係が生まれ、自主的、自発的な新たなテーマコミュニティが育っていくことにつながることから、市での開催が望ましい。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	市民活動団体等の協力のもと最小限の経費で実施している。 事業実施主体を実行委員会から岐阜市へ変更することを検討している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	新型コロナウイルス感染拡大の中、感染者が減った時期を見計らって事業を実施し、秋のマルシェ開催日は、令和3年度の来館者数が最も多い日となった。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	市民の誰もが参加できるイベントとするとともに、広報紙やホームページを活用して広く周知している。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	改善 (統合・縮小含む。)	開館から7年がたち、メディアコスモスの広場も新たな賑わいが生まれた。今までは実行委員会での事業実施であり、実行委員会の構成団体との連携や、協力体制も確立した。今後は岐阜市単独事業としての実施も検討中。